

京都新聞社、141年目を歩み始める節目6月9日(脚注1)に 地方新聞社の業態進化に挑戦する新事業「THE KYOTO」を立ち上げ

京都新聞社(本社:京都市中京区、社長:山内 康敬)は、141周年を迎える2020年6月9日(火)に新事業「THE KYOTO」を、株式会社電通(本社:東京都港区、社長:五十嵐 博)と共同で立ち上げます。

「THE KYOTO」は「文化を知る。世界を変える。」をスローガンに、メディア、サロン、クラウドファンディングの3つの活動を柱とし、京都をヒントに未来の文化を生み出すためのプラットフォームです。

(脚注1) 京都新聞の前身京都商事迅報(はやぶれ)は1879(明治12)年6月9日に創刊

【 地方新聞社の業態進化 : 3つの新しいジャーナリズムへ挑戦 】

Slow Journalism

〈 スロージャーナリズム 〉

新しさや速さよりも歴史に磨かれた智慧を探求し
現在に価値のある視点を丁寧に伝える

Solutions Journalism

〈 ソリューションジャーナリズム 〉

社会課題を提起するだけでなく
共感でコミュニティを生み出し解決まで導く

Glocal Journalism

〈 グローカルジャーナリズム 〉

地域に根付く姿勢はそのままに
読者を世界へ広げる

□ **スローガン:文化を知る。世界を変える。**

「THE KYOTO」は、メディア、サロン、クラウドファンディングという3つの活動を柱に、京都の価値を再認識し、未来の文化を考えるグローバルなアート・文化のコミュニティを生み出すことを目指します。

事業概要は次頁以降をご覧ください。

【 本件に関するお問合せ先 】

THE KYOTO 事務局

604-8577 京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町 239

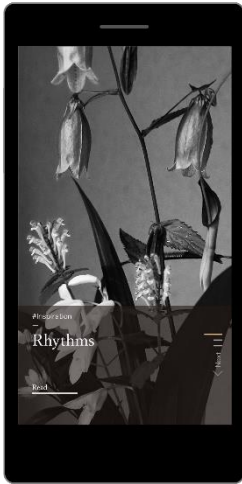
<https://the.kyoto> E-mail ryo.kagami@the.kyoto 担当 各務

【 事業概要 】

□ 3つの活動の柱

1. メディア

情報過多、フェイクニュース、フィルターバブルといった情報社会の課題に、京都に流れる時間のようにゆっくりと、丁寧な記事をお届けする。新しさや速さよりも歴史に磨かれた智慧を探求し、現在に価値ある視点で伝えるスロージャーナリズムの精神で、1日3本の記事を配信。「Inspiration」「Sense」「Idea」3つの刺激で、読者の美意識・哲学のアップデートをサポートする。



〈 Inspiration 〉

フォトグラファーの感性が切り取る〈美しさの一瞬〉。時が止まるような美しいひとときが、視覚を通じて全身を奮い立たせる。その背景にあるストーリーを感じながら、じっくりと楽しんでいただきたい。



〈 Sense 〉

自分の価値基準とは、生きる意味とは、学びとは何か。根源的な問いに向き合う〈骨太なストーリー〉。世代、性別を問わず、文化を発信、継承する人々の生き方、考え方にこれからの時代のヒントを探る。



〈 Idea 〉

今日のあなたを磨く〈ひと匙のアイデア〉。食、アート、歴史、音楽。ありとあらゆるジャンルから、新しい視点や知恵、情報を紹介。気軽に読め、毎日をちょっとずつ豊かにしてくれる記事をお届けする。

2. サロン

日本を代表する多様な文化人とグローバルな文化が交わる対談や座談会を企画。失われかけているサロン文化をアップデートし、より新鮮で刺激的な場を目指す。人生で最高の贅沢は人との出会い。リアルからしか生まれない学びとインスピレーションを、デジタルと両輪で提供していく。

● オンラインサロン(ウェビナー)の開催

第1弾は「経済を、もっとおもしろく。」を掲げる NewsPicks との共同イベントから開催いたします。

日時	テーマ	KYOTO fellow	TOKYO fellow
2020/6/09(火) 08:30-09:30	禅と日本文化	 伊藤東凌 建仁寺「両足院」副住職	 佐々木 紀彦 NewsPicks Studios CEO
2020/6/10(水) 08:30-09:30	きものと日本の美意識	 細尾真孝 西陣織「細尾」12代目	 山口周 独立研究者、作家、パブリックスピーカー

2020/6/11(木) 08:30-09:30	京料理と編集力	 高橋拓児 木乃婦 3代目主人	 佐渡島庸平 コルク代表
2020/6/12(金) 08:30-09:30	お華と感性力	 笹岡隆甫 華道 未生流笹岡 3代家元	 MEGUMI 女優 タレント
2020/6/17(水) 08:30-09:30	工芸と共感力	 矢島里佳 和える代表取締役	 坊垣佳奈 マクアケ共同創業者 取締役

3. クラウドファンディング

未来の文化を創るアイデア、人、お金を繋ぐクラウドファンディング。メディアやサロンを通じて生まれたアイデアを、社会実装することで世の中を動かしていく。美しき伝統、後世に伝えたい知識や技術、アイデアで解決したい社会課題、地域課題。「THE KYOTO」らしい豊かな解決方法で世界を変えていきます。



800年にわたる和歌の家・冷泉家に
文化財を保存する土蔵を造りたい

未整理の公家文化を後世へ。



COVID-19 退散

祇園祭の粽をお届けしたい

祈りを込めて作られた粽を授与し、祇園祭を後世へ。



クマガスクの新たなアートスペースが
二条城の北側に誕生

もったいない、をプロダクトに昇華。アーティストの制作活動で不用になった端材を、副産物として利活用。

□ With COVID-19、ニューノーマルへの挑戦 「Stay with THE KYOTO」

コロナ禍にお出かけできない、京都へお越しいただけないファンのみなさまの悩みを解決し、同時に文化を応援するプロジェクトをラインナップ。



京都の有名料亭がリレーでお届けする無料レシピ
動画「おうちで料亭ごはん」



自宅で完成する名店「いづう」のちらし寿司の商品
開発など、おうち時間を彩りながら文化振興に寄付
できる「育てるお取り寄せ」

□ メンバー挨拶



大西祐資（発行人）

140年余り、ずっと京都を見つめる新聞社だから、きちんと京都の玄関にお招きし、一步も二歩も分け入った文化の奥深い場所に誘います。伝えたいのは多様な価値観。触れてほしいのは伝統の繊細な差異と現代の息吹。きっと、みなさんの心の支えになる、とびっきりの一つを見つけていただけるはずです。そして、「THE KYOTO」と一緒に、新たな何かを生み出しませんか。

プロフィール：1989年に京都新聞社入社。社会部事件キャップ、社会担当部長などを経て、今年3月まで1年9カ月にわたり編集局長。共著に「権力に迫る『調査報道』」（旬報社）。1994年度新聞協会賞＝連載「こころの世紀」（取材班メンバー）＝や2014年第21回坂田記念ジャーナリズム賞＝福島原発事故に伴う県外避難者報道（取材班代表）＝など受賞。



各務亮（編集長&クリエイティブ・ディレクター）

京都の文化は、美しさと未来へのヒントに溢れています。でも、その多くが継承の危機に直面しています。「THE KYOTO」では、文化・アートを愛好する世界中の人々と、地域の文化をつないでいきたい。地域文化を観るだけでなく、そこに参加いただき、育てることを新しい常識にしていきたい。未来の文化をつくる贅沢を、みなさまとご一緒できること楽しみにしています。

プロフィール：2002年から中国、シンガポール、インドなど電通拠点を移り住み、2012年から電通京都支社勤務。京都から日本ならではのグローバル価値を生み出すべく「GO ON」「太秦江戸酒場」「夕暮能」など伝統に異分野を掛け合わせた全く新しい商品、サービス、事業を多数立ち上げ。佐治敬三賞、カンヌライオン、D&AD など受賞。

□ サービス内容

- Web サイト： <https://the.kyoto>
- 月間購読料1,000円のサブスクリプションサービス（1週間のお試し期間あり）
- 2021年春以降はサロンを中心にしたメンバーシップサービスも公開予定

以上